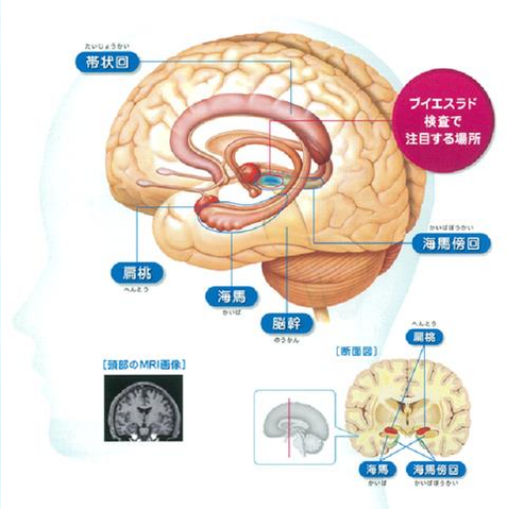
VSRAD(ブイエスラド)
早期アルツハイマー型認知症診断支援システムのご案内

認知症は年齢を重ね高齢になるほど、発症する危険は高まります。
認知症は特別な人に起こる特別な出来事ではなく、年齢を重ねればどなたにも起こりうる、身近な病気ともいえます。
厚生労働省の認知症高齢者の現状（平成２４年）では、全国の65歳以上の高齢者について、認知症数は全体の15%、約462万人と推計、認知症の前段階とされる軽度認知障害MCI（正常でもない、認知症でもない（正常と認知症の中間）状態の者）は全体13%、400万人と推計されます。
それらを合わせると高齢者の約4人に1人が認知症あるいはその予備群ということになります。
今後超高齢化社会の日本では、団塊の世代が75歳以上となる2025年には、認知症患者数は700万人前後に達し、65歳以上の高齢者の約５人に１人を占める可能性があります。

脳の萎縮度検査

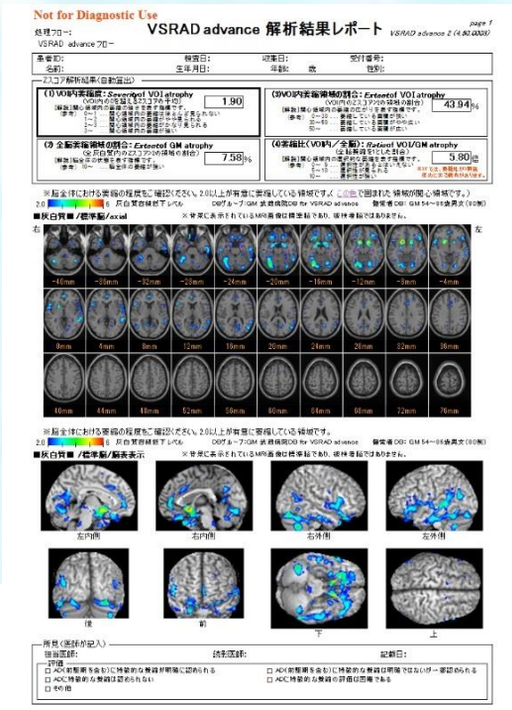
　脳の萎縮度をみる検査「VSRAD」このシステムの開発により、MRIの画像診断においてこれまで目視では難しかった早期アルツハイマー型認知症診断の支援情報を提供することが可能となりました。
アルツハイマー病は物忘れの進行とともに脳の萎縮、特に海馬という記憶に関する部分が萎縮します。
VSRADはこの萎縮の程度をみる検査です。



次のような症状のある方には、特にVSRADをお勧めします。

◇同じ話を繰り返す
◇知っている人の名前が思い出せない
◇物のしまい場所を忘れる
◇漢字を忘れる
◇今しようとしていることを忘れる
◇理由もないのに気がふさぐ
◇身だしなみに無関心になる
◇外出がおっくうになる
◇財布などものが見当たらないことを他人のせいにする

解析結果レポート



【検査料】 **4,000円**（税抜）

MR検査を選択した場合、追加のオプション検査としてご選択いただけます。
通常のMR検査に約６分の追加撮影で行える検査です。
50歳以上の方が対象です。（50歳未満の方も検査は出来ますが、判定の信頼性は下がります。）

まつなみ健康増進クリニック
人間ドック・健診センター

TEL 058-387-2128（直通）/058-388-0111（代表）